



## 英語教育の充実に向けた学びの推進

小中一貫教育において、第4号で紹介したように大きく分けて6つの事に取り組みます。今回は第4弾として、外国語活動・外国語を中心にグローバル化に対応する英語教育の充実に向けた学びの推進について紹介します。

### 外国語活動・外国語を中心にグローバル化に対応

文部科学省は外国語教育について、子どもたちが将来どのような職業に就いても求められる、外国語で多様な人々とコミュニケーションを図ることができる基礎的な力を育成することを求めています。学習指導要領では外国語活動・外国語の目標は次のように定められています。

小学校 外国語活動目標(抜粋)	小学校 外国語目標(抜粋)	中学校 外国語目標(抜粋)
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

### 文部科学省が定める年間授業時間数

小学校	外国語活動	3年生	35時間	4年生	35時間			
	外国語				5年生	70時間	6年生	70時間
中学校		1年生	140時間	2年生	140時間	3年生	140時間	

### 二宮町の外国語教育

二宮町は平成 29(2017)年度に県の小中一貫教育モデル校に、また平成 30(2018)年度にはパイロット地区になりました。小中一貫教育を導入するにあたり、外国語活動・外国語を「重点化を図る教科等」として設定し、特色ある学校教育として英語教育に取り組むことになりました。

### 二宮町の特色ある取り組み

#### ① 授業スタイル

二宮町では、児童生徒が自ら英語を話したくなる、聴きたくなるコミュニケーション活動を取り入れた授業づくりに力を入れています。そのため、素地を養う小学校では学級担任と英語専科教諭と ALT (外国語指導助手) が連携し、それぞれのもつ強みを生かしながら授業を行っています。

#### ② 小中連携

二宮町では、英語教育に携わる小・中学校の先生が合同で授業研究や研修会を年間 10 回程度行っています。小中学校間の学びの円滑な接続を目指して、9年間を見通したカリキュラムづくりに取り組んだり、指導法についての情報交換を行ったりしています。

#### ③ 海外の生徒とのオンライン交流

中学校では、今年度より海外の生徒とのオンライン交流を始めました。授業を通して身に付けたスキルを用いて、海外の生徒とのコミュニケーションを楽しむことができました。

#### ③ 英語検定奨励金の交付

生徒の学習意欲の向上や基礎的な知識や技能を身に付けることを目的に、中学校全学年を対象に、在学中 1 人につき 2 回まで実用英語技能検定の 3 級以上の検定料を奨励金として交付しています。(ただし、準 2 級以上の検定料の奨励金を受けようとする場合は 3 級を取得していることを条件としています)

